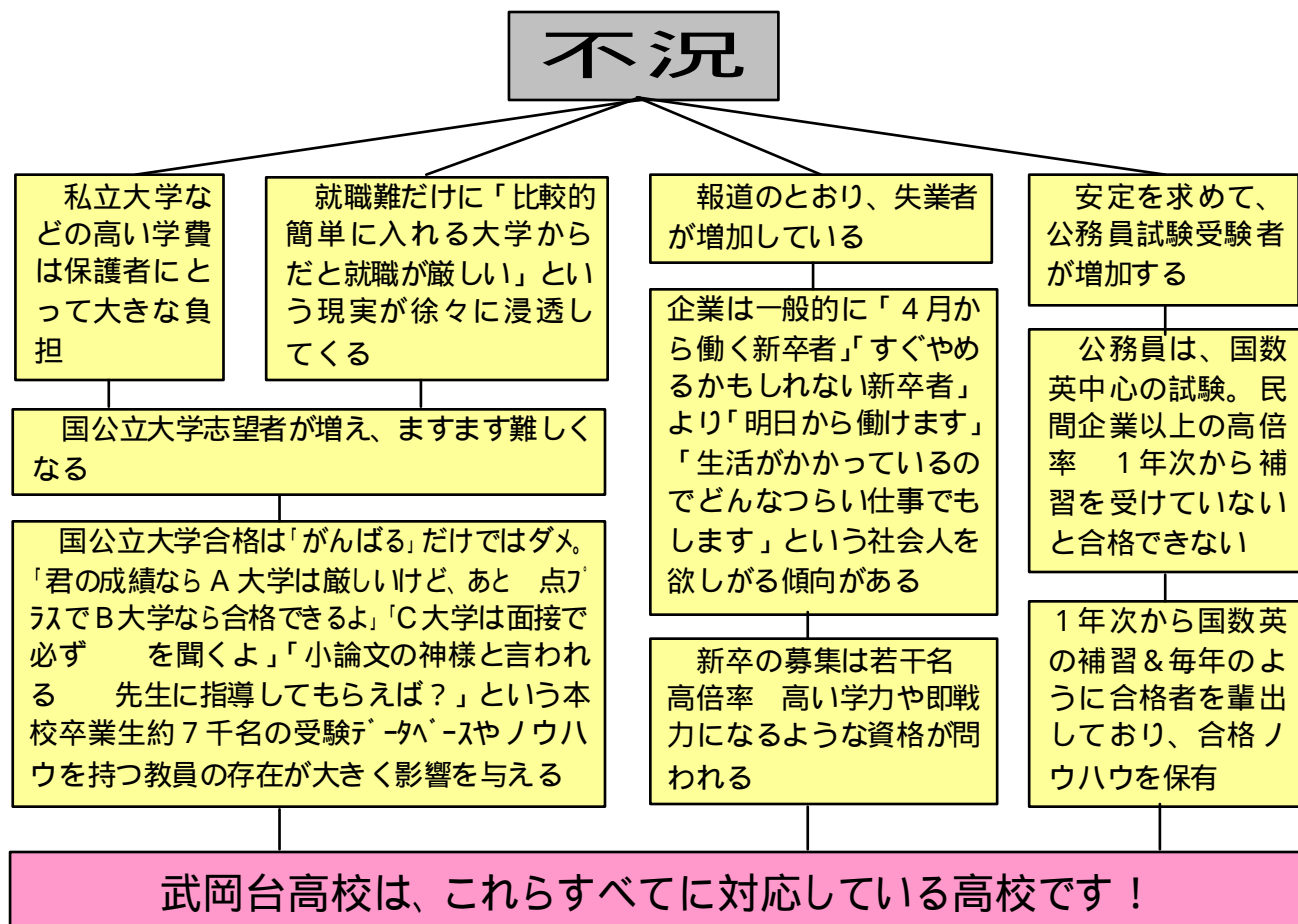


# 不況に強い武岡台高校

ニュースなどでもご存知のとおり、不況の波が徐々に押し寄せていますが、「大学に進学する自分には、就職状況なんて関係ない」「対岸の火事」と思っている人も多いのではないのでしょうか？

歴史を振り返っても、好況から不況に転落するのはわずか数週間ですが、その逆は数年かかります。現在の中高校生が、大学を卒業するころまでに好転しているかどうか？」である上に、「就職が厳しいから進学しよう」という人も増えますので、決して他人事ではないことが下の表からもわかると思います。

しかし本校は、こんな苦境だからこそ、中学生のみなさんの明るい未来を拓くお手伝いができるチャンスであると考えています。「不況だからこそ武台の時代！」と言っても過言ではありません。



「知識は、まさに身を武装する『よるい』や『かぶと』のようだ」の意味

歴史小説風に表現するなら、社会という戦場において、「知識は、まさに身を鎧よろいふ甲冑かっちゅうの如し」とでもいうべきでしょうか。しかも、いったん戦場に出たら「城に戻って、もっと頑丈なよるいを…」と引き返すことはできません。やり直しができないからこそ、用意周到に準備を進めなければなりません。

武岡台高校は、どんなに世の中が変わっても、生きていける知識・技術を身につけることを目標としており、「卒業10年後笑える学校」をめざしています。大変な世の中だからこそ、誰も「自分がかわいいい」からこそ、高校は10年先までよく考えて選ぶべきであり、「人生はどこかで苦労や努力をしないといけないうにできている」と言われますが、「笑っていたいからこそ、今努力する」というのが大事なことなのかもしれません。

**「周田が、バイクだ、ゲームだ、ガールフレンドだと遊んでいるときに、オレはずっと武台で勉強してたぜ！（だから今こうして豊かな人生が送れているんだ）」** と言える日まで…

これをお読みくださった中学生のみなさんが、高校入試で実力発揮・自己実現できるようお祈りしています。